



Hata's デンタルクリニック

お口に健康を、
心に笑いを



忙しい毎日、自分の体、特に口の中のケア、できていますか？
大阪府堺市で歯科医院を経営している畑崎先生が、
先生方の健康に役立つ情報をお届けいたします。

第2回

虫歯はどこからやってくる？

皆さんは、虫歯菌は人から人へ感染するのをご存知でしょうか。生まれたての赤ちゃんのお口の中には、虫歯菌は存在しません。この状態だと、いくら甘い物を食べても、歯磨きをしなくても、虫歯にはなりません。

では、虫歯菌をもたらすのは誰でしょう。それは周囲の大人です。赤ちゃんは、生後19〜31カ月の間に、両親や近親者によって虫歯菌に感染させられると言われています。

ここで問題です。虫歯菌には、次のどの行為で感染してしまうでしょうか。

①大人が口で噛んだ食べ物をあ

げる。

②同じスプーンで食事をする。

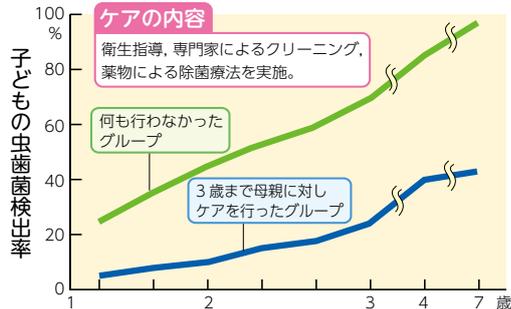
③熱いものをフーフーと冷ましてから食べさせる。

④顔の前でくしゃみをする。

なんと、答えは「全部」です！これら全ての行為をしないことは、現実的に難しいと思います。感染を予防するには、赤ちゃんに接する方（大人）がもつ虫歯菌の数を少なくすることがいちばんです。虫歯を治療するのはもちろんのこと、お口の中を綺麗にしておく事が重要です。出産ギリギリまでご両親が歯科医院で口腔ケアを行っていたら、乳児への虫歯菌の感染を7割近く抑えることができます。

近くに赤ちゃんがいる先生方は、自分のためはもちろん、赤ちゃんのためにも、お口の中を綺麗にしておいてください。

●母親の口腔ケアと子どもの虫歯の関係



著者紹介
畑崎 清孝

1969年生まれ。大阪府堺市在住。広島大学大学院歯科研究課程修了（口腔細菌学専攻）。畑崎歯科医院勤務、日本臨床歯科医学会認定医。様々な研究会に参加しながら学校医も務める。患者さんの立場に寄り添い、最適な治療を行う技術と温かさに定評がある。